

# 輝く卒業生たち

甲賀市立綾野小学校  
まの もえ  
**眞野 萌さん**

## Profile

滋賀県出身。2023年3月教育学部初等教育コース初等教科専攻体育専修卒業。同年4月甲賀市立綾野小学校着任。現在、6年生を担当として受け持ち、体育主任として同校の体育授業計画、運動会や球技大会などの企画・運営も行う。甲賀市の体育授業研究会では、学生時代にも取り組んだ「マット運動のコツと指導法」について発表。自身が長年打ち込んできたバレーボールの課外活動にも力を注ぐ。

## 大学での学びや経験を活かし 児童全員が楽しく勉強できる授業を

### 子どもとのふれ合いに感動し 小学校教員に目標を変更

小学生から続けてきたバレーボールの指導者になりたい気持ちもあり、高校の保健体育の教員をめざして地元の滋賀大学教育学部に進学しました。しかし、3年生で行った小学校での教育実習で、短い実習期間ながら日々成長していく姿に感動。子どもたちとより長く深く関わっていきたくと思い、目標を小学校教員に変更しました。

小学校教員はすべての科目を教えるため、授業の準備などで毎日忙しく、加えて算数や国語といった科目の中には私自身の苦手科目もありました。しかし、得意科目でないからこそ難しさもわかります。子どもたちが楽しく学べる授業計画や実践方法を、教育学部の各教科の先生から学び、前向きに取り組むことができました。この

経験は、私の教師としての土台になっています。

教師になった今は、児童それぞれの得意・苦手を見極めながら、みんなが興味を持って学べる授業を計画し、クラスで一緒に授業を作っていくことも大切にしています。私が想定していた内容と異なる意見が子どもたちから出ることがありますが、そうした視点や発想を尊重し、伸ばしていくことも心がけています。

### 小学校生活6年間で向き合う 子どもとの関係性は多様

教師として3年目を迎え、現在は6年生の担任をしています。1年目は2年生、2年目は4年生の担任をしましたが、幅広い年齢・成長段階に向き合えることは、小学校教員の魅力のひとつです。低学年・中学年の子どもにとって教師は保護者に近い存在、



一方、高学年になると話す内容も多岐にわたり、大人同士とあまり変わらない関係性になっていると思います。こうした子どもとの関わりを含めた学級経営や指導には、体育専修での学びや、卒業研究でテーマにした「小学生の体育授業における社会性を育むための教師行動」の内容が活かされています。体育授業での整列や、スポーツのルールなどの規律、チームワークは社会性を育むために必要な要素だと改めて感じています。

### 滋賀大学教育学部出身の 教師のロールモデルに

現在勤務している小学校では、大学時代に所属していたバレーボール部の仲間の一人と机を並べて働いています。偶然の着任とはいえ、とてもうれしく、一緒にバレーボールを教えるなど切磋琢磨できる関係が続いています。他にも教育学部出身の先生が在籍しており、大変心強いです。また、学生時代のゼミの先生は私のあこがれの存在であり、今も何かあれば相談させていただいています。滋賀大学で教員をめざしてよかったと改めて実感し、次は私が教育学部出身の教師としてのロールモデルになれるよう努力していきたいです。

